

Ⅱ. 生活課題（解決すべき課題）について

【問 20】あなたは、あなたのお住まいの地域で、今重要な課題は何だと思えますか。次の中から、最もあてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 健康づくり、病院・医師の確保などの保健・医療の問題
- ② 教育、健全育成など子ども・若者の問題
- ③ 電車、バス、フェリーもしくはそれらの停留所へのアクセスなど移動の問題
- ④ 歴史、文化、伝統行事の保存
- ⑤ 近隣住民との人間関係や助けあいなどご近所付き合いの問題
- ⑥ 失業などの雇用、所得の確保などの問題
- ⑦ 介護や年金などの高齢者の問題
- ⑧ ゴミの分別や清掃などの環境問題
- ⑨ バリアフリーなどの問題
- ⑩ 災害時への対応の問題
- ⑪ 食の安全の問題
- ⑫ 住宅の問題
- ⑬ レクリエーションや遊び場などの余暇の場の問題
- ⑭ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
余土地区	6	19	3	6	17	7	15	13
	12.0%	38.0%	6.0%	12.0%	34.0%	14.0%	30.0%	26.0%
松山市 全体	554	741	283	227	764	218	891	455
	26.8%	35.9%	13.7%	11.0%	37.0%	10.6%	43.1%	22.0%
回答数	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答	総計 (対象者)
余土地区	4	20	1	0	13	4	1	129
	8.0%	40.0%	2.0%	0.0%	26.0%	8.0%	2.0%	(50)
松山市 全体	58	713	76	47	239	61	16	5,343
	2.8%	34.5%	3.7%	2.3%	11.6%	3.0%	0.8%	(2,065)

【問 21】あなたは、介護等を必要とする高齢者の方の地域生活がスムーズに行われるため、今後更に充実すべきサービスは何だと思いますか。次の中から、特に重要だと思うものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 訪問系サービス
(ホームヘルプサービス、訪問入浴サービスなど、介護福祉士などが介護を必要とする高齢者の自宅を訪問し、家事援助や介護を提供するサービス)
- ② 通所系サービス
(デイサービスなど、介護を必要とする高齢者が施設などに赴き、日中の余暇やリハビリテーションなどを行うサービス)
- ③ 短期入所施設
(ショートステイなど、介護を必要とする高齢者の家族などが急な用事や外出を必要とする場合に、一時的に高齢者が入居する施設)
- ④ 共同生活のための施設
(グループホームや特別養護老人ホームなど、介護を必要とする高齢者が自宅を離れ、入居する施設)
- ⑤ 福祉用具の貸与や販売
(福祉用具の貸与や特定福祉用具販売など、車いすや杖などの貸与や購入を支援するサービス)
- ⑥ 住宅のバリアフリー化の支援
(住宅改修費支給など、手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修のサービスを提供したり、その費用を補助したりするサービス)
- ⑦ 医療系サービス
(訪問看護や居宅療養管理指導など、医師や看護師、薬剤師などが自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービス)
- ⑧ 総合相談事業
(地域包括支援センターや在宅介護支援センターなど、介護を必要とする高齢者やその家族の相談に応じるサービス)
- ⑨ 余暇・生きがい支援
(外出支援や出張理美容サービスなど、生活を豊かにするために、余暇や生きがいを支援するサービス)
- ⑩ 家族会
(ねたきりや認知症など高齢者の介護を支える家族の会など、介護する家族の情報交換やネットワーク形成を促すサービス)
- ⑪ 各種手当て・割引制度の充実
(福祉サービスや医療サービス、公共交通機関などの各種手当て・割引制度の充実)
- ⑫ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
余土地区	28	7	11	9	12	8	16
	56.0%	14.0%	22.0%	18.0%	24.0%	16.0%	32.0%
松山市全体	985	366	710	475	239	374	619
	47.7%	17.7%	34.4%	23.0%	11.6%	18.1%	30.0%
回答数	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	無回答	総計 (対象者)
余土地区	19	10	2	19	1	0	142
	38.0%	20.0%	4.0%	38.0%	2.0%	0.0%	(50)
松山市全体	549	502	313	525	29	14	5,700
	26.6%	24.3%	15.2%	25.4%	1.4%	0.7%	(2,065)

【問 22】あなたは、現在介護等を必要としない高齢者のための生きがいづくりや介護予防（介護を必要とする状態にさせにくくする）のサービス等は、何だと思いますか。次の中から、特に重要だと思うものを3つ以内で選んで下さい。

① 生きがいデイサービス

（ふれあい・いきいきサロンや高齢者の会食会など、高齢者が集い、交流を深めるサービス）

② 家事援助サービス

（配食サービス、住民参加型在宅福祉サービスなど、日常的に介護を必要としないが、買い物や掃除など一人では負担の大きい家事の手助けを行うサービス）

③ 高齢者の安否確認・見守り活動

（乳酸菌飲料配布、独居高齢者みまもり員設置事業など、独居高齢者や高齢者世帯の実態を把握し、安否確認等を行うサービス）

④ 余暇支援サービス

（外出支援など、一人での外出が困難な高齢者の外出に同行するサービス）

⑤ 就労支援

（シルバー人材センターなど、定年後の就労を支援するサービス）

⑥ 総合相談事業

（高齢者に関する健康相談、住宅改修相談など、日常生活の相談に応じるサービス）

⑦ 各種手当て・割引制度の充実

（福祉サービスや医療サービス、公共交通機関などの各種手当て・割引制度の充実）

⑧ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	総計 (対象者)
余土 地区	31	12	25	9	20	16	20	1	0	134
	62.0%	24.0%	50.0%	18.0%	40.0%	32.0%	40.0%	2.0%	0.0%	(50)
松山市 全体	1,327	804	834	504	705	577	622	33	25	5,431
	64.3%	38.9%	40.4%	24.4%	34.1%	27.9%	30.1%	1.6%	1.2%	(2,065)

【問 23】あなたは、介護等を必要とする障害者が日常生活をスムーズに行うため、今後更に充実すべきサービスは何だと思いますか。 次の中から、特に重要だと思うものを3つ以内で選んで下さい。ここでいう障害者とは、身体障害者だけではなく、知的障害者や精神障害者、その他発達障害者なども幅広く含めています。

- ① 訪問系サービス
(ホームヘルプサービス、訪問入浴サービスなど、介護福祉士などが介護を必要とする障害者の自宅を訪問し、家事や介護を提供するサービス)
- ② 通所系サービス
(デイサービスなど、介護を必要とする障害者が施設などに赴き、日中の余暇やリハビリテーションなどを行うサービス)
- ③ 短期入所施設
(ショートステイなど、介護を必要とする障害者の家族などが急な用事や外出を必要とする場合に、一時的に障害者が入居する施設)
- ④ 共同生活のための施設
(グループホームや障害者支援施設など、介護を必要とする障害者が自宅を離れ、入居する施設)
- ⑤ 福祉用具の貸与や販売
(福祉用具の貸与や特定福祉用具販売など、車いすや杖などの貸与や購入を支援するサービス)
- ⑥ 住宅のバリアフリー化の支援
(住宅改修費支給など、手すりの取り付けや段差解消等の住宅改修のサービスを提供したり、その費用を補助したりするサービス)
- ⑦ 医療系サービス
(訪問看護や居宅療養管理指導など、医師や看護師、薬剤師などが自宅を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービス)
- ⑧ 総合相談事業
(地域活動支援センターなど、介護を必要とする障害者やその家族の相談に応じるサービス)
- ⑨ 余暇・生きがい支援
(外出支援や出張理美容サービスなど、生活を豊かにするために、余暇や生きがいづくりを支援するサービス)
- ⑩ 就労支援
(作業所や一般企業などでの就労を支援するサービス)
- ⑪ 各種手当・割引制度の充実
(福祉サービスや医療サービス、公共交通機関などの各種手当・割引制度の充実)
- ⑫ 家族会
(障害者の介護を支える家族の会など、介護する家族の情報交換やネットワーク形成を促すサービス)
- ⑬ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
余土地区	22	10	25	16	10	5	4	7
	44.0%	20.0%	50.0%	32.0%	20.0%	10.0%	8.0%	14.0%
松山市全体	1,095	711	927	699	411	238	309	317
	53.0%	34.4%	44.9%	33.8%	19.9%	11.5%	15.0%	15.4%
回答数	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答	総計 (対象者)	
余土地区	6	13	11	10	1	1	141	
	12.0%	26.0%	22.0%	20.0%	2.0%	2.0%	(50)	
松山市全体	287	408	265	188	12	17	5,884	
	13.9%	19.8%	12.8%	9.1%	0.6%	0.8%	(2,065)	

【問 24】あなたは、子育て支援を必要とする世帯が、日常生活をスムーズに行うため、今後更に充実すべきサービスは何だと思えますか。次の中から、特に重要だと思うものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 保育事業の充実 (乳児・障害児・延長・休日・一時保育、保育ママなど)
- ② 在宅保育サービスの充実 (ベビーシッター等の有償サービスなど)
- ③ 母子保健の充実 (乳幼児健診、赤ちゃん相談、「食育」の推進など)
- ④ 思春期保健対策 (思春期健康教育)
- ⑤ 医療の充実 (産婦人科、乳幼児医療や小児科など)
- ⑥ 学校教育環境の整備 (学習アシスタント活用支援事業、教職員研修事業など)
- ⑦ 家庭や地域の教育力の向上 (親子のふれあい教室など)
- ⑧ 有害環境対策 (携帯電話やインターネット、交通事故、不審者、犯罪など)
- ⑨ 生活環境の整備 (住宅環境、道路交通環境の整備など)
- ⑩ 仕事と家庭の両立の支援 (育児休暇、放課後保育、企業の理解促進等)
- ⑪ 児童虐待防止対策の充実 (児童虐待防止ネットワークなど)
- ⑫ 一人親家庭の自立支援 (保育の充実、所得の支援など)
- ⑬ 障害児施策の充実 (障害児の療育など、障害児の支援に関するサービス)
- ⑭ 経済的支援 (子どもにかかる各種手当ての増額や保育利用料の減額など)
- ⑮ 総合相談事業 (子育てに関することの相談に応じるサービス)
- ⑯ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
余土	29	1	6	2	13	3	9	6	4
地区	58.0%	2.0%	12.0%	4.0%	26.0%	6.0%	18.0%	12.0%	8.0%
松山市	1,178	101	223	96	678	152	313	248	128
全体	57.0%	4.9%	10.8%	4.6%	32.8%	7.4%	15.2%	12.0%	6.2%
回答数	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	無回答	総計 (対象者)
余土	26	6	6	8	19	5	0	0	143
地区	52.0%	12.0%	12.0%	16.0%	38.0%	10.0%	0.0%	0.0%	(50)
松山市	876	193	259	175	822	232	13	29	5,716
全体	42.4%	9.3%	12.5%	8.5%	39.8%	11.2%	0.6%	1.4%	(2,065)

【問 25】あなたは、あなたの地域で障害者や高齢者をはじめとしたすべての人にやさしいまちづくりを進めるために、優先的に取り組まなければいけないことは何だと思いますか。次の中から、特に重要だと思うものを2つ以内で選んで下さい。

- ① すべての住民が使いやすい公共・民間施設の改善や整備
(道後温泉、松山城、スポーツジムなどの余暇設備を含む)
- ② すべての住民が住みやすい住宅の確保や整備
- ③ すべての住民が安全で快適に移動できる交通機関と交通環境の整備
- ④ すべての住民が安心して暮らせる緊急時の安全対策と防犯・防災対策の推進
- ⑤ 住民と高齢者・障害者などとの交流など、偏見・差別の撤廃への取り組みの推進
- ⑥ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計 (対象者)
余土地区	16	8	20	29	19	1	1	94
	32.0%	16.0%	40.0%	58.0%	38.0%	2.0%	2.0%	(50)
松山市 全体	739	376	771	1,162	650	22	29	3,749
	35.8%	18.2%	37.3%	56.3%	31.5%	1.1%	1.4%	(2,065)

【問 26】あなたは、下記のような福祉的課題について、過去1年以内に地域内で見たり、聞いたりしましたか。ある場合には、次の中から、あてはまるものすべて選んで下さい。また、具体的にどのようなエピソード(状況)が分かる場合は、簡単に記入して下さい。

- ① 虐待、暴力、養育(介護)放棄
- ② 外国人とのトラブル
- ③ 自殺、孤独死
- ④ 低所得、ホームレス
- ⑤ 雇用問題(ニート、失業、非正規労働など)
- ⑥ 不審者、治安問題
- ⑦ 消費者問題(悪徳商法、振り込め詐欺など)
- ⑧ 同和問題、差別
- ⑨ 若者の問題(不登校、反社会的行動、引きこもりなど)
- ⑩ 老老介護
- ⑪ 精神疾患(うつ病、リストカット、薬物、アルコール依存、ストーカーなど)
- ⑫ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
余土地区	2	0	2	10	6	15	6
	4.0%	0.0%	4.0%	20.0%	12.0%	30.0%	12.0%
松山市 全体	175	14	189	180	359	411	346
	8.5%	0.7%	9.2%	8.7%	17.4%	19.9%	16.8%
回答数	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	無回答	総計 (対象者)
余土地区	1	9	13	6	0	17	87
	2.0%	18.0%	26.0%	12.0%	0.0%	34.0%	(50)
松山市 全体	70	372	537	293	26	673	3,645
	3.4%	18.0%	26.0%	14.2%	1.3%	32.6%	(2,065)

<エピソード> (個人や世帯の特定できるエピソードは公開しません)

(松山市全体の結果より抜粋)

- 虐待、療育放棄、不登校等学校との連絡会で見聞きます。
- 死後1カ月たって一人暮らしの男性が発見された。近所付き合いがなく誰も気づかなかった。
- 高齢者をねらった電話による振り込め詐欺に遭遇したが、税金の払い戻しや還付等高齢者には理解が難しい内容で、独居老人で相談者がいない場合等は危険と感じた。
- 30代の男性がずっと家庭内にひきこもり中。両親ともになすすべがない。どこに相談していいのかわからず暗い毎日。
- 私の近辺には老老介護の方が3名おられますが、介護している方それぞれ苦勞されており、年々介護されるが側になるのではと心配しております。
- 介護者が介護疲れで病院に入院した。 等

Ⅲ. 住民活動の実態

【問 27】あなたは、あなたの地域の方々が福祉の世話役として活動する頻度は、どのくらいが適当だと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① 年に4～6回程度 ② 月に1回程度 ③ 月に2回程度
④ 週に1回程度 ⑤ 週に2回以上

回答数	①	②	③	④	⑤	無回答	総計
余土地区	11	17	20	1	0	1	50
	22.0%	34.0%	40.0%	2.0%	0.0%	2.0%	100.0%
松山市全体	350	773	623	233	39	47	2,065
	16.9%	37.4%	30.2%	11.3%	1.9%	2.3%	100.0%

【問 28】あなたは、あなたのお住まいの地域のリーダーの方たちは地域のためによくやっていると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① とてもそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	32	17	1	0	0	50
	64.0%	34.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	1,035	818	143	23	46	2,065
	50.1%	39.6%	6.9%	1.1%	2.3%	100.0%

【問 29】あなたは、あなたの地域の地域福祉を推進していく上で、リーダー的役割を担う地域の人材をどういった方（団体）にお願いしたいと思いますか。次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 町内会・自治会・区長会 ② 地区社会福祉協議会
③ 地区民生児童委員協議会 ④ 地域包括支援センター
⑤ 行政 ⑥ 地区公民館
⑦ 地区高齢クラブ ⑧ 地域ボランティア団体
⑨ 障害者団体 ⑩ PTA
⑪ 女性団体
⑫ その他（具体的に：)

【問 31】 あなたからみて地域の方々のお付き合いは、どの程度行われていると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 常に助け合っている | ② 何か困ったときに助け合っている |
| ③ 時々訪問しあい話をする | ④ 立ち話をする |
| ⑤ あいさつを交わす | ⑥ ほとんど付き合いはない |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	0	18	3	13	16	0	0	50
	0.0%	36.0%	6.0%	26.0%	32.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	170	724	154	404	558	40	15	2,065
	8.2%	35.1%	7.5%	19.6%	27.0%	1.9%	0.7%	100.0%

【問 31-2】 問 31 で「①常に助け合っている、②何か困ったときに助け合っている」と答えた方にお伺いします。

あなたは、助け合う内容としてあてはまるものを次の中からすべて選んで下さい。あてはまる内容がない場合はその他にあてはまる内容をご記入下さい。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ① あいさつや安否確認などの声かけ | ② 話し相手になること |
| ③ 災害時の避難支援・安否確認 | ④ ごみ出し |
| ⑤ 買い物の手伝い・代行 | ⑥ 相談相手になること |
| ⑦ 玄関前などの掃除・庭の手入れ | ⑧ 防犯・防災のための巡回 |
| ⑨ 外出への同行 | ⑩ 手紙の代筆、電話かけ |
| ⑪ 子どもの登下校時の見守り | ⑫ 住居内の荷物の移動 |
| ⑬ 短時間の子守り | ⑭ 食事の用意 |
| ⑮ 新聞や本の代読 | ⑯ 幼稚園などへの送り迎え |
| ⑰ その他（ | ） |
| ⑱ 特にない | |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
余土地区	16	7	6	5	3	7	3	2	1	1
	32.0%	14.0%	12.0%	10.0%	6.0%	14.0%	6.0%	4.0%	2.0%	2.0%
松山市全体	676	488	282	149	99	357	91	125	42	21
	32.7%	23.6%	13.7%	7.2%	4.8%	17.3%	4.4%	6.1%	2.0%	1.0%
回答数	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	無回答	総計 (対象者)
余土地区	11	1	4	1	1	2	1	0	0	72
	22.0%	2.0%	8.0%	2.0%	2.0%	4.0%	2.0%	0.0%	0.0%	(50)
松山市全体	346	26	59	31	8	25	15	5	14	2,859
	16.8%	1.3%	2.9%	1.5%	0.4%	1.2%	0.7%	0.2%	0.7%	(2,065)

【問 32】あなたは、地域の方が困っている場合、どのような手助けができますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んで下さい。あてはまる内容がない場合はその他にあてはまる内容をご記入下さい。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ① あいさつや安否確認などの声かけ | ② 話し相手になること |
| ③ 災害時の避難支援・安否確認 | ④ ごみ出し |
| ⑤ 買い物の手伝い・代行 | ⑥ 相談相手になること |
| ⑦ 玄関前などの掃除・庭の手入れ | ⑧ 防犯・防災のための巡回 |
| ⑨ 外出への同行 | ⑩ 手紙の代筆、電話かけ |
| ⑪ 子どもの登下校時の見守り | ⑫ 住居内の荷物の移動 |
| ⑬ 短時間の子守り | ⑭ 食事の用意 |
| ⑮ 新聞や本の代読 | ⑯ 幼稚園などへの送り迎え |
| ⑰ その他 () | |
| ⑱ 特にない | |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
余土	44	23	24	21	13	10	8	14	3	1
地区	88.0%	46.0%	48.0%	42.0%	26.0%	20.0%	16.0%	28.0%	6.0%	2.0%
松山市	1,619	1,137	948	643	481	688	327	436	160	186
全体	78.4%	55.1%	45.9%	31.1%	23.3%	33.3%	15.8%	21.1%	7.7%	9.0%
回答数	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	無回答	総計 (対象者)
余土	25	7	9	6	2	9	1	2	0	222
地区	50.0%	14.0%	18.0%	12.0%	4.0%	18.0%	2.0%	4.0%	0.0%	(50)
松山市	721	241	236	100	149	155	29	57	31	8,344
全体	34.9%	11.7%	11.4%	4.8%	7.2%	7.5%	1.4%	2.8%	1.5%	(2,065)

【問 33】あなたは、地域のお付き合いが、どのような状態になればよいと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 常に助け合う | ② 何か困ったときに助け合う |
| ③ 時々訪問しあい話をする | ④ 立ち話をする |
| ⑤ あいさつを交わす | ⑥ その他 () |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	4	35	2	3	6	0	0	50
	8.0%	70.0%	4.0%	6.0%	12.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市	322	1,403	133	46	136	5	20	2,065
全体	15.6%	67.9%	6.4%	2.2%	6.6%	0.3%	1.0%	100.0%

【問 34】あなたは、あなたのお住まいの地域は、自分たちのことは自分たちで決めるという意識が強いと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	6	28	13	1	2	50
	12. 0%	56. 0%	26. 0%	2. 0%	4. 0%	100. 0%
松山市全体	306	1, 116	576	36	31	2, 065
	14. 8%	54. 0%	27. 9%	1. 8%	1. 5%	100. 0%

【問 35】あなたは、あなたのお住まいの地域は、自分たちの地域のための活動が盛んであると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	8	27	14	1	0	50
	16.0%	54.0%	28.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	309	1,126	576	38	16	2,065
	15.0%	54.5%	27.9%	1.8%	0.8%	100.0%

【問 36】あなたは、あなたのお住まいの地域は、行事や活動が盛んであると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	10	30	10	0	0	50
	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	431	1,108	477	34	15	2,065
	20.9%	53.7%	23.1%	1.6%	0.7%	100.0%

【問 37】あなたは、地域のつながりづくりに一番役に立っている行事や活動は何だと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 町内会や公民館活動等の地域活動、
- ② 地区社会福祉協議会が行う福祉学習や地域活動
- ③ 民生委員・児童委員や独居高齢者みまもり員の活動
- ④ 婦人会・高齢クラブ・愛護班・子ども会・防火クラブ等の地域活動
- ⑤ 保育所や児童館の行事
- ⑥ 幼稚園や学校（ＰＴＡ活動を含む）の行事

- ⑦ 職業団体（農業・商業・工業等）の活動
- ⑧ 資源回収や余剰品の交換などのリサイクル推進活動
- ⑨ 福祉分野のボランティア活動
- ⑩ 趣味・教養文化などのグループ活動
- ⑪ スポーツ・レクリエーションなどの活動
- ⑫ 盆踊りや祭りなどの地域行事
- ⑬ まちづくりイベントの主催や協力・参加
- ⑭ その他（

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
余土地区	44	2	4	23	0	12	0	2
	88.0%	4.0%	8.0%	46.0%	0.0%	24.0%	0.0%	4.0%
松山市 全体	1,577	211	591	529	33	376	59	89
	76.4%	10.2%	28.6%	25.6%	1.6%	18.2%	2.9%	4.3%
回答数	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答	総計 (対象者)
余土地区	1	4	10	30	2	0	0	134
	2.0%	8.0%	20.0%	60.0%	4.0%	0.0%	0.0%	(50)
松山市 全体	71	152	333	1,017	138	15	28	5,219
	3.4%	7.4%	16.1%	49.2%	6.7%	0.7%	1.4%	(2,065)

【問 38】あなたは、あなたのお住まいの地域は、地域活動を行うための拠点や施設が十分であると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	3	24	18	5	0	50
	6.0%	48.0%	36.0%	10.0%	0.0%	100.0%
松山市全体	164	899	853	123	26	2,065
	7.9%	43.5%	41.3%	6.0%	1.3%	100.0%

【問 39】あなたの地域の行事や活動で、よく使用する場所はどこですか。次の中から、最もあてはまるものを2つ以内で選んで下さい。

- ① 地域の公民館や分館・集会所
- ② 公園や児童遊園地
- ③ 松山市役所・支所
- ④ 神社・寺
- ⑤ 幼稚園・小中学校などの教育施設（運動場、体育館含む）
- ⑥ 社会福祉施設（松山市総合福祉センター、保育園含む）
- ⑦ 個人宅

- ⑧ その他の民間施設 ()
- ⑨ その他の公共施設 ()
- ⑩ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	総計 (対象者)
余土	47	9	0	4	18	0	4	0	0	2	0	84
地区	94.0%	18.0%	0.0%	8.0%	36.0%	0.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	(50)
松山市	1,870	296	129	173	701	54	76	21	31	16	28	3,395
全体	90.6%	14.3%	6.2%	8.4%	33.9%	2.6%	3.7%	1.0%	1.5%	0.8%	1.4%	(2,065)

【問 40】 あなたの地域の行事や活動に活用する（したい）ため、整備や充実をしてほしい拠点や施設は何か。次の中から、最もあてはまるものを2つ以内で選んで下さい。

- ① 地域の公民館や分館・集会所
② 公園や児童遊園地
③ 幼稚園
④ 小中学校などの余裕教室
⑤ 社会福祉施設（保育園含む）
⑥ その他（具体的に：

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計 (対象者)
余土地区	36	24	0	6	6	2	1	75
	72.0%	48.0%	0.0%	12.0%	12.0%	4.0%	2.0%	(50)
松山市 全体	1,469	693	35	434	300	66	67	3,064
	71.1%	33.6%	1.7%	21.0%	14.5%	3.2%	3.2%	(2,065)

【問 40-2】 問 40 で選択したものの中で、具体的な要望があれば記して下さい。

(松山市全体の結果より抜粋)

○公民館のバリアフリー。足の悪い人が多いため、エレベーターの設置。

○公民館は高齢者の方が利用する機会が多いのでトイレを和式より洋式に直してほしい。

○集会所がもっと広ければ良いのでは。町内全員が集合した場所は絶対に狭い。

○もう少し充実した公園があったら良い。子どもの遊び場を増やしてほしい。 等

等

【問 41】あなたの地域は、地域活動のための資金が十分にあると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	1	7	33	7	2	50
	2.0%	14.0%	66.0%	14.0%	4.0%	100.0%
松山市全体	41	386	1,285	291	62	2,065
	2.0%	18.7%	62.2%	14.1%	3.0%	100.0%

【問 42】地域活動のために必要な資金を拠出する際に、あなたは、年間にどの程度の金額なら負担（寄付）してもよいと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① 500 円未満
② 500 円以上 (1,000 円未満)
③ 1,000 円以上 (3,000 円未満)
④ 3,000 円以上 (5,000 円未満)
⑤ 5,000 円以上 (10,000 円未満)
⑥ 10,000 円以上

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	3	21	16	9	1	0	0	50
	6.0%	42.0%	32.0%	18.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	162	505	798	342	176	47	35	2,065
	7.8%	24.5%	38.6%	16.6%	8.5%	2.3%	1.7%	100.0%

【問 43】あなたの地域は、地域活動に関する情報が十分に循環していると思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① かなりそう思う ② 少しそう思う
③ あまりそう思わない ④ 全くそう思わない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	3	24	20	2	1	50
	6.0%	48.0%	40.0%	4.0%	2.0%	100.0%
松山市全体	228	1,031	703	63	40	2,065
	11.0%	49.9%	34.0%	3.1%	2.0%	100.0%

【問 44】あなたは、地域活動・福祉サービスに関する情報をどのようなところから入手されますか。
次の中から、あてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

- ① 松山市役所（支所を含む）
- ② 保健所（保健センター）
- ③ 松山市社会福祉協議会
- ④ 地区社会福祉協議会
- ⑤ 教育機関（幼稚園・学校など）
- ⑥ 地域包括支援センター
- ⑦ 在宅介護支援センター
- ⑧ 社会福祉施設（保育所含む）
- ⑨ 公民館
- ⑩ 自治会・町内会
- ⑪ 民生（主任）児童委員
- ⑫ ケアマネージャー
- ⑬ 家族・親戚
- ⑭ 友人・ご近所
- ⑮ ボランティア
- ⑯ 新聞・雑誌
- ⑰ 市の広報誌（広報まつやま）
- ⑱ テレビ・ラジオ
- ⑲ インターネット
- ⑳ その他の地域の団体（子ども会、PTA、女性団体、高齢クラブなど）
- ㉑ その他（

IV. 住民の福祉に対する意識

【問 47】あなたは、福祉に対してどのような考え方をお持ちですか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- ① 福祉とは、恵まれた人が困っている人に対して、善意の手をさしのべることである
- ② 福祉を必要とする人も自分で最大限の努力をすべきであり、他の援助は最小限にとどめるべきである
- ③ 福祉を必要とする人に対しては親・兄弟や親類縁者が面倒をみるべきであり、他の援助は最小限にとどめるべきである
- ④ 福祉は、国や地方自治体（市区町村）の責任で行うべきである
- ⑤ 福祉は、国や地方自治体（市区町村）、民間団体、社会福祉協議会・住民（住民組織）などすべてが協力し合いながら行うものである
- ⑥ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	5	6	0	5	33	0	1	50
	10.0%	12.0%	0.0%	10.0%	66.0%	0.0%	2.0%	100.0%
松山市 全体	129	390	88	117	1,288	22	31	2,065
	6.2%	18.9%	4.3%	5.7%	62.3%	1.1%	1.5%	100.0%

【問 48】あなたは、あなたの地域の様々な生活問題を解決するための仕組みはどうあるべきだと思いますか。次の中から、最もあてはまると思うものを1つ選んで下さい。

- ① 多少の自己負担や利用料が必要だとしても、できるだけ公的な機関や専門の機関が生活問題を解決する状況が望ましい
- ② 公的な機関や専門の機関と住民の助け合い活動がバランスをとりながら生活問題を解決する状況が望ましい
- ③ 住民の助け合い活動を基本として、これを公的な機関や専門の機関が補いながら生活問題を解決する状況が望ましい
- ④ その他 ()

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	5	31	13	0	1	50
	10.0%	62.0%	26.0%	0.0%	2.0%	100.0%
松山市全体	345	1,223	445	3	49	2,065
	16.7%	59.2%	21.5%	0.2%	2.4%	100.0%

の考えに最も近いものを1つ選んで下さい。

- ⑤ その他 ()

回答数	①	②	③	④	⑤	無回答	総計
余土地区	12	14	19	3	2	0	50
	24.0%	28.0%	38.0%	6.0%	4.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	349	750	718	173	35	40	2,065
	16.9%	36.3%	34.8%	8.4%	1.7%	1.9%	100.0%

中から、あてはまるものすべて選んで下さい。

- ④ いずれも知らない

回答数	①	②	③	④	無回答	総計 (対象者)
余土地区	1	1	1	47	0	50
	2.0%	2.0%	2.0%	94.0%	0.0%	(50)
松山市全体	152	150	193	1,614	76	2,185
	7.4%	7.3%	9.3%	78.2%	3.7%	(2,065)

《地区社会福祉協議会のことについてお聞かせ下さい。》

地区社会福祉協議会とは、地域の問題や課題を住民が主体となって発見・協議し、解決のための方法を自らが考え、実践に結びつけると共に、必要に応じて市社協をはじめ関係団体等と連携・協働し地域住民だれもが住みやすいまちづくりを目指す任意の団体です。

【問 51】あなたは、地区社会福祉協議会をご存知ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで下さい。

① 知っている

② 知らない

回答数	①	②	無回答	総計
余土 地区	20	30	0	50
	40.0%	60.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	1,268	765	32	2,065
	61.4%	37.0%	1.6%	100.0%

【問 52】あなたは、地区社会福祉協議会が実施する事業を 1 つでもご存知ですか。次の中から、あてはまるものを 1 つ選んで下さい。

① 知っている

② 知らない

回答数	①	②	無回答	総計
余土 地区	15	35	0	50
	30.0%	70.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	1,045	970	50	2,065
	50.6%	47.0%	2.4%	100.0%

【問 53】あなたは、地域の生活課題や問題を解決・相談できる地区社会福祉協議会の拠点（地域住民のための相談窓口機能等）が必要だと思いますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

① 必要である

② どちらかという必要である

③ どちらかというと必要ない

④ 必要ない

⑤ その他 (

回答数	①	②	③	④	⑤	無回答	総計
余土地区	21	26	2	0	1	0	50
	42.0%	52.0%	4.0%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	919	927	121	30	21	47	2,065
	44.5%	44.9%	5.9%	1.4%	1.0%	2.3%	100.0%

【問 54】 あなたがお住まいの地域のイメージはどのようなものですか。次の中から、特にあてはまるものを3つ以内で選んで下さい。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 自然に恵まれている | ② 観光地として賑わいがある |
| ③ 農業・漁業が盛んである | ④ 工業が盛んである |
| ⑤ 買い物に便利である | ⑥ 周辺に企業が多い |
| ⑦ 上下水道が整っている | ⑧ ゴミの分別やリサイクルが進んでいる |
| ⑨ スポーツを楽しむやすい環境が整っている | |
| ⑩ 芸術・文化に親しみやすい環境が整っている | |
| ⑪ 子育てしやすい環境が整っている | |
| ⑫ 交通の便がよい | |
| ⑬ 道路の整備が進んでいる | |
| ⑭ 医療施設が整っている | |
| ⑮ 福祉施設が充実している | |
| ⑯ 公園や遊び場が整備されている | |
| ⑰ 人情に厚く近所づきあいがある | |
| ⑱ 住民の自主的な活動が活発である | |
| ⑲ 交通事故や犯罪が少ない | |
| ⑳ 安心できる住みよい地域である | |
| ㉑ その他 () | |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
余土	8	0	0	0	24	0	8	3	5	0	5	28
地区	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.0%	0.0%	16.0%	6.0%	10.0%	0.0%	10.0%	56.0%
松山市	1,000	51	241	9	742	33	327	140	70	53	157	511
全体	48.4%	2.5%	11.7%	0.4%	35.9%	1.6%	15.8%	6.8%	3.4%	2.6%	7.6%	24.7%
回答数	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	21	無回答	総計 (対象者)	
余土	2	4	0	3	10	2	1	14	2	1	120	
地区	4.0%	8.0%	0.0%	6.0%	20.0%	4.0%	2.0%	28.0%	4.0%	2.0%	(50)	
松山市	107	142	32	125	382	96	404	617	27	35	5,301	
全体	5.2%	6.9%	1.5%	6.1%	18.5%	4.6%	19.6%	29.9%	1.3%	1.7%	(2,065)	

【問 55】 あなたは、高齢者とは、何歳からをイメージしますか。次の中から、最もあてはまるものを1つ選んで下さい。

- | | |
|-----------|----------|
| ① 60 歳から | ② 65 歳から |
| ③ 70 歳から | ④ 75 歳から |
| ⑤ 80 歳から | ⑥ 85 歳から |
| ⑦ その他 () | |

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	総計
余土	1	4	27	11	6	0	1	0	50
地区	2.0%	8.0%	54.0%	22.0%	12.0%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%
松山市	34	228	903	616	238	16	9	21	2,065
全体	1.7%	11.1%	43.7%	29.8%	11.5%	0.8%	0.4%	1.0%	100.0%

【問 56】 松山市の地域福祉への期待を伝えるキャッチフレーズを思いつきましたらご自由にお書き下さい。 例：「福祉パワーでまちづくり」

(松山市全体の結果より抜粋)

○ずっと住みたいなあ人と人がささえあっているこの町で

○みんなで支える地域の福祉

○みんなで作ろう福祉充実の街

○みんなで作ろう福祉の輪

○安心・安全で暮らせる福祉のまちづくり

○赤ちゃんからおとなまで安心して生活できる福祉のまち 等

※お書きになられたキャッチフレーズは、松山市の地域福祉を推進するために使用させていただくことがございますので、あらかじめご了承下さい。

【問 57】 地域活動や福祉に関してご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書き下さい。

(松山市全体の結果より抜粋)

○会合しようとしてもその場所すら工面せねばならない状態であり、しかも昼間では時間がとれず必然的に夜になりつい止めてしまう。また、コミュニケーションを図るためにも、場所こそがネックになっていることが多い。

○ご近所とコミュニケーションをとりたくても個人情報の問題がからんできて、なかなか上手に他人の生活の中に入り込めないのが残念です。

○町内は独居老人が多いです。でも昔ながらの近所付き合いが残っている方なので安心な町だと思います。しかし若い人が住んでいないので将来が不安な面もある。

○参加されているのはごく一部の方に限られ新しく参加して下さる方はほぼ0に近い状態が現状です。地域活動にしても福祉にしても小さい頃からの教育と参加あってこそ。 等

<回答者のフェイスシート>

※下記のことについて、あてはまるものに○をつけて下さい。

【性別】について

① 男性

② 女性

回答数	①	②	無回答	総計
余土	22	28	0	50
地区	44.0%	56.0%	0.0%	100.0%
松山市	925	1,126	14	2,065
全体	44.8%	54.5%	0.7%	100.0%

【年齢】について

① 19歳以下

② 20歳代

③ 30歳代

④ 40歳代

⑤ 50歳代

⑥ 60歳～64歳

⑦ 65歳～69歳

⑧ 70歳～74歳

⑨ 75歳以上

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	総計
余土	0	2	8	10	10	2	8	6	4	0	50
地区	0.0%	4.0%	16.0%	20.0%	20.0%	4.0%	16.0%	12.0%	8.0%	0.0%	100.0%
松山市	18	131	272	340	383	286	276	208	139	12	2,065
全体	0.9%	6.3%	13.2%	16.5%	18.5%	13.8%	13.4%	10.1%	6.7%	0.6%	100.0%

【地域の通算居住年数】について

① 5年未満

② 5年～10年未満

③ 10年～20年未満

④ 20年～30年未満

⑤ 30年～50年未満

⑥ 50年以上

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	3	5	6	12	16	8	0	50
	6.0%	10.0%	12.0%	24.0%	32.0%	16.0%	0.0%	100.0%
松山市	101	126	285	426	735	374	18	2,065
全体	4.9%	6.1%	13.8%	20.6%	35.6%	18.1%	0.9%	100.0%

【現在一緒に暮らしている家族構成】について

① 親・子・孫の世帯（3世代）

② 親・子の世帯（2世代）

③ 祖父母・孫の世帯

④ 夫婦の世帯

⑤ 兄弟姉妹の世帯

⑥ ひとり暮らし世帯

⑦ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	総計
余土	9	21	1	14	0	1	4	0	50
地区	18.0%	42.0%	2.0%	28.0%	0.0%	2.0%	8.0%	0.0%	100.0%
松山市	345	898	17	599	7	129	51	19	2,065
全体	16.7%	43.5%	0.8%	29.0%	0.3%	6.3%	2.5%	0.9%	100.0%

【居住形態】について

- ① 持ち家（一戸建て）
② 公営住宅
③ 民営の賃貸住宅（一戸建て）
④ 社宅
⑤ 民営の賃貸住宅（マンション等）
⑥ その他（

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	総計
余土地区	47	0	0	0	3	0	0	50
	94.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%
松山市 全体	1,866	36	62	8	60	19	14	2,065
	90.4%	1.7%	3.0%	0.4%	2.9%	0.9%	0.7%	100.0%

【職業の有無】について

- ① 有 ② 無

回答数	①	②	無回答	総計
余土 地区	20	29	1	50
	40.0%	58.0%	2.0%	100.0%
松山市 全体	1,135	910	20	2,065
	55.0%	44.0%	1.0%	100.0%

【現在或いは過去の職業（最終）】について

- ① 自営業
② 会社員
③ 公務員
④ 教員
⑤ 自由業（開業医・弁護士等）
⑥ 農林漁業
⑦ パート・アルバイト
⑧ 家事専業
⑨ 学生
⑩ 無職（学生・家事専業を除く）
⑪ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
余土地区	2	24	6	3	0	0	6
	4.0%	48.0%	12.0%	6.0%	0.0%	0.0%	12.0%
松山市 全体	264	748	176	73	8	159	261
	12.8%	36.2%	8.5%	3.5%	0.4%	7.7%	12.6%
回答数	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答	総計	
余土地区	6	0	0	2	1	50	
	12.0%	0.0%	0.0%	4.0%	2.0%	100.0%	
松山市 全体	191	28	26	93	38	2,065	
	9.3%	1.4%	1.3%	4.5%	1.8%	100.0%	

【家族への介護経験（高齢者・障がい者等）の有無】

- ① 経験あり ② 経験なし
③ 2～3年先には経験するかもしれない
④ その他（ ）

回答数	①	②	③	④	無回答	総計
余土地区	19	24	5	2	0	50
	38. 0%	48. 0%	10. 0%	4. 0%	0. 0%	100. 0%
松山市全体	826	1, 054	133	29	23	2, 065
	40. 0%	51. 0%	6. 5%	1. 4%	1. 1%	100. 0%

余土地区の紹介

松山中央公園

森恒太郎（盲天外）

お豊石

日招八幡大神社

石手川沿いの松並木

安長渡し・学校橋

安長堤・安長土手

【松山中央公園の紹介】

松山中央公園(まつやまちゅうおうこうえん)は、愛媛県松山市にあるスポーツ施設群等を有する公園である。

施設は松山市が所有し、財団法人松山市文化・スポーツ振興財団(以前は松山市施設管理公社が行ったが2010年4月1日に松山市生涯学習振興財団と合併した)^[1]が指定管理者として運営管理を行っている。また公園内にある愛媛県武道館については、施設は愛媛県が所有し、愛媛県スポーツ振興事業団が指定管理者として運営管理を行っている。

【歴史】

松山市中心部にある松山城山公園には松山市営球場、松山競輪場の他プール、テニスコート、ラグビー場、弓道場などのスポーツ施設があったが、いずれも1940年代後半頃に相次いで建設されたもので老朽化が著しく、利用者は不都合を託っていた。しかし城山公園は、国の史跡である松山城の敷地にあるため増築や改修を容易に行うことができず、1993年、市は市街地南側の市坪地区に整備する公園内にこれらのスポーツ施設を再整備する方針を発表した。こうして順次各種施設が整備され、2000年に野球場、2003年には県営の武道場、2005年にはプール、競輪場が完成した。

前述の通り、地理的には市街地の南側にあるが、公園の名称では「中央」を名乗っている(但し松山平野のほぼ中央に位置している)。そのこともあってか、市民・県民には「松山中央公園」という名称よりも「坊っちゃんスタジアム」など個別の施設名で呼ばれることが多い。

なお市内にはこの他「松山総合公園」があるが、所在地が全く異なり、スポーツ施設はない。他にも県が管理する「愛媛県総合運動公園」が松山市と伊予郡砥部町との境にあり、これとも誤認されるケースがしばしばあるため、来訪の際には注意が必要となる。

中央公園の主な施設

- 松山中央公園野球場(坊っちゃんスタジアム)
 - 投球練習場(屋外ブルペン)併設
- 松山中央公園サブ野球場(マドンナスタジアム)
- 松山中央公園屋内運動場
- 松山中央公園運動広場 ※多目的運動広場
- 松山中央公園テニスコート
- 松山中央公園プール(アクアパレットまつやま)
- 松山競輪場・松山中央公園多目的競技場(であいフィールド)
- 愛媛県武道館

【坊っちゃんスタジアム】



坊っちゃんスタジアムは本塁を北側として野球場を配置しております。これは野手がフライを取るときに、太陽光線が妨げとならないように、設計されています。

グラウンドとしては、プロ野球公式戦可能な、両翼 99.1m・中堅 122m の広さを持ち 3 万人収容可能なスタンド及び、ナイター設備を備えた『野球王国愛媛』にふさわしい球場です。内野を黒土混合土、外野を天然芝とし、プロ野球・高校野球を問わず選手にやさしく、プレーのしやすさを重視した仕様となっています。

【マドンナスタジアム】



マドンナスタジアムは、夜間照明設備を備え、硬式野球・軟式野球・ソフトボールの使用ができます。

グラウンドとしては《坊っちゃんスタジアム》と同じ、両翼 99.1m・中堅 122m の広さで、内野を黒土混合土、外野が人工芝となっております。

収容人数は、メインスタンド：1,166 席・1・3 塁内野スタンド：822 席・身体障害者席：12 席で、合計 2,000 人収容となっております。

【アクアパレット】



みんながしたしみやすく、松山らしさを全国にアピールできるような愛称を募集し、全国から約 570 件の応募の中から選出されました。

「プールというパレットで競泳・遊泳・健康増進など人と人との交流し、多彩な色（個性）へと発展していく感じ」という意味がこめられています。

【武道館】



愛媛県武道館は、愛媛県における武道振興のための新たな中核施設として整備されました。堂々とした風格を有し、県内産の木材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品などの県産品をふんだんに用いて愛媛らしさあふれる施設となっており、次の四つの「き」をコンセプトにしております。

- ・機能性（世界初の「浮上式柔道用床転換システム」の導入）
- ・規模の大きさ（日本武道館、東京武道館と並ぶ日本最大級の規模）
- ・木などの県産品（内装・外装に県産品を活用した「愛媛らしさ」）
- ・来やすさ（施設のそばに駅やバス停留所、タクシー乗り場が）

（松山中公園ホームページより）

【森 恒太郎（盲天外）】



1. 《生い立ち》

森盲天外は1864年（元治元年）、8月13日、余土村庄屋、森謙蔵の長男として、伊予郡西余戸村（現松山市）に生まれ、1876年（明治9年）愛媛県変則中学校（のち、松山中学校、現在松山東高等学校）に入学し、校長草間時福の自由民権思想の影響を受け、早くから政談演説を行うなどしている。明治14年東京に出て、明治19年に帰郷。帰郷したが、恒太郎は戸外に出ず、もっぱら読書三昧の生活をしてきた。明治19年9月、降り続く豪雨により石手川の堤が切れ、余土村は大洪水に見舞われ、甚大な被害を受けた。この村と村民の惨状に恒太郎が目覚め、村の復興運動を興し、明治20年10月には、村内有志と図ってのちの農会の

母体となる余土村農事懇談会を組織した。また、恒太郎は政治活動分野にも進出し、明治21年に高須峰造らとともに改進黨の支部を結成し、明治23年には県会議員に出て当選した。しかし、その後、彼は政治屋なるものを嫌い、明治26年政界を去り、実業界に転じた。

2. 《盲目となる》

明治27年7月、日清戦争がおこり、明治天皇は9月大本營を広島に移した。恒太郎は天皇を迎えるために愛媛県民代表として広島に赴いた。だが、天皇を仰ぎ見た日の翌朝、眼を患い、治療の甲斐なく、明治29年失明してしまった。恒太郎、32歳の時であった。盲目の身となった恒太郎は失望落胆。妻に苦勞をかけさせまいと断腸の思いで離別し、また、老母にも苦勞をかけさせまいと、一人で余土に独居していたが、失意のあまり、三度にわたり自殺を図るなどした。また、死を覚悟し、三度の食事を断つことなどもした。

3. 《開眼》

しかし、或る日のこと。食事中に一粒の米が膝に落ち、それを探し求めて豁然として悟るところがあった。それは「僅に指頭に拈じ得られる一粒の飯にも、殆ど量るべからざる重さのあること」を知り、そして、幼児より家庭にて母より教えられた、「只一粒の飯といえども是を粗末にしてはならぬ。若し粗末にする時は眼が潰れる罰が当たる」との訓戒を思い出し、一粒の米は何故かくも尊敬をうけているのか、の意味を考え、ついに悟った。

一粒の米が何故貴いのか。森恒太郎は考えた。米は日常の食物となって栄養を与えている、生命を与えている、しかし、それだけでは一粒米を尊敬する理由にはならないと、斥け、恒太郎は一粒米に次のように語らせた。

「我は今茲に一粒の米と生まれた。・・・我れ一粒米に於ては、空しく草の実たるに終るを以て、満足すべき性質ではない。此の上の向上を遂げねばならぬ。一度人の口に入り、腸胃に消化せられて、万物の靈長たる其人と同化し去るの向上を遂げなければならぬ。・・・向上する為めには、痛みも苦しみも厭う所でない、生きながらにして精く其皮膚を剥がれよう。又進んで石臼に挽かれては粉となろう。炮烙の中に入って肉を焼かれ、身を焦がされよう。猶又鍋中の熱湯に身を投じて、熱するまで煮られよう。此くの如く危難を恐れず水火を避けず、粉骨碎身するは我の厭う処でない。・・・是ぞ我が本懐とする処であって、又向上する手段である。向上せんが為には百難千苦も敢て厭う処でない。進んで此の苦勞を受けんとするものである」と。

このように考えた恒太郎は、自己を大いに恥じ、一粒米の粉骨碎身の努力に比べ、自分は両眼を失った位で失望し、挫折し、只死のみを考え、何と意志薄弱ではないかと。今後は「手折れても、足折れても、身裂き、骨を砕けても奮闘一番せなければならぬ」と決意し、悟った。そして、恒太郎は比叡山に行き、修業に励んだ。

4. 《村長となる》

比叡山での修業中、余土の村民が恒太郎を訪ね、村長の就任を要請した。恒太郎は盲目の身の自分に村長を要請するなど、この村民の大胆さに驚き、任務を遂げられないと再三辞退したが、村民の熱意に応えて、ついに村長を引き受けることを決意した。明治31（1898）年、恒太郎、34歳のときであった。

恒太郎は村長に当選したが、愛媛県は恒太郎が盲目であることを理由に認可しなかった。それに対し、恒太郎は敢然と闘った。盲人だからといって公民としての資格に欠けるところはない、それを不認可とは「人権蹂躪」であり、「認可権の不法濫用である」と糾弾し、もし、不認可となったならば、「私一人の権利が蹂躪せらるるのみならず、我国盲人界の脅威である、幾万の盲人は公的生活より葬らねばならぬ結果を招来するに至る」と言い、ついに認可を勝ち取った。

盲目の身でありながら余土村長になった森恒太郎は、明治31（1898）年から40年まで10年の長きにわたって、村長を務め、村民のため数多くの実績をあげた。村会では番号札の後に座るような形式的なことは避け、炬燵（こたつ）会議と称し、恒太郎の居室で爐を囲み、皆が自由に意見を述べあい、納得の上で議事を決めるやり方をとった（民主主義的合意形成）。

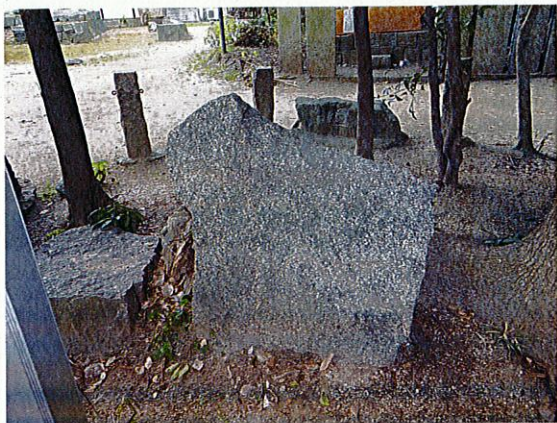
また、村の吏員には村民に対して親切と丁寧の平民的態度で接するよう指導した（公的観念の形成）。また、村民にも官依存でなく、自治精神を涵養するよう説いた。そして、特筆すべきは、「村を治めんとするにはその対象たる村の研究に出發せねばならぬ」として、明治32年から余土村の実態調査を行い、翌年「余土村是調査書」をまとめた。この調査により「村是」を定め、小学校教育の改善、青年教育の実施、耕地改良、勤儉貯蓄、共同購入、小作人保護、副業奨励等の施策に次々と取り組んだ。

そのうちの幾つかの成果を挙げると、今日の児童は将来の公民であるとして、小学児童に「余土村是」を教材とした活きた公民教育を行った。また、「余土村児童役場」なるものを設け、毎月第2、第4土曜日に児童役場を開き、事務を執らさせたり、日曜日毎に小学児童に村民の貯金の集金させたり、早くから村民としての自覚、公民観念の養成を行った。さらに、土に親しむ教育、農業教育も重視し、学校栽園を全国にさがけて設置した。

青年教育にも力を入れた。小学校の旧校舎に青年を集め、国語、算術、公民、修身、経済、農業、等の科目を教えた。恒太郎自らも授業を担当した。そして、青年団員に村民のため、天気予報の通知、道路の修繕、養水路の掃除や短冊型苗代や正条植え等の新しい農事改良にも取り組ませた。その他、読書を奨励するため、文庫ならびに新聞縦覧所を開設するなどした。また、娯楽も重視し、運動会を開いたり、青年を県外に旅行させたりしている。

恒太郎は教育を重視するとともに、すでに矛盾が現れていた地主・小作関係の改善、小作人保護にも取り組んだ。恒太郎は地主から田畑一反歩につき毎年米一升を拠出させ、それを積み立て、小作人保護のために当てることを考え、明治33年から、自ら頭陀袋を首にかけ、草鞋を履いて、地主の家を個別訪問した。一部に強硬な反対者あり、辞職勧告の迫害も受けたが、屈せず、小作人保護の理想を掲げ、やり抜いた。住民のために献身的に身を捧げる、その恒太郎の不屈の精神は、驚嘆すべきものがあり、今日の政界の腐敗状況からみて大いに学ぶ点があるといえよう。

《お豊石》



1602年（慶長7年）加藤嘉明が正木城（松前）を勝山に移し松山城を築くときのことである。お城の石垣に使う石を正木城から運んだ。この石は松前のおたたさんが頭に乘せて運んだといわれている。

そのおたたさんの中に「お豊」という人がいた。お豊は、ずっと前から石を運んでいたもので、つかれきっていたが、務めだと思ってその日も石を運びにきた。石の中に二の字の印が刻んであるのは大きいので誰もその石は運ぼうとしなかった。

そのときお豊は「これくらいの事が出来ないようではお殿様に申しわけがございません」といって運びはじめました。

出合いを過ぎた頃から、お豊は遅れがちになり、足元がふらふらしてよろめきだした。そうして、日招神社の近くまで来ると、とうとう前に進めなくなり倒れてしまった。おたたさんたちは話し合い、その石を土の中に埋め、お豊の霊を慰める事にした。それから300年近くたった大正時代の耕地整理の時、地中から大きな石が出てきた。お豊の石であった。人々は、このけなげなお豊をあわれんで、その石を「お豊石」となずけて神社に残す事になった。石の出た場所は、保免西2丁目にあった「お豊橋」である。

《日招八幡大神社》



今から八百年ほど前、源平の頃、佐々木四郎高綱という人が、砥部（今の伊予郡砥部町）の殿様の森山近江守と荏原の殿様の大野山城守の連合軍と戦いをした。戦いが長引いて、もう夕方になり日が暮れかけているのに、戦いはなかなか終わらなかった。高綱は、夜になったら味方が不利になり戦いに負けるかも知れないと思った。そこで、どんどん西の空に沈みかけているお日さまに向かって扇で招いた。

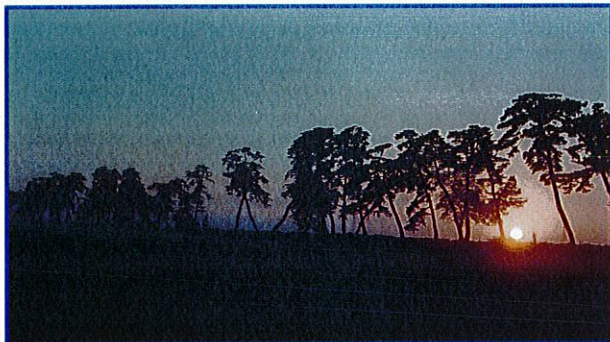
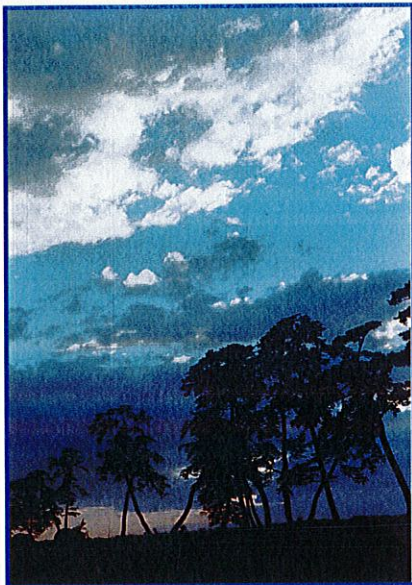
ところがどうでしょう、沈みかけていたお日さまが急に帰ってきて、昼のように明るくなり、戦いに勝つ事が出来たという事である。

高綱は、戦いに勝つ事が出来たのはこの神社の神徳のおかげであると考え「日招神社」と呼ぶようになったという。

社伝によれば、越智益身弓が築紫国から勧請したが大同年間（806～810）大納言雄友卿が痘瘡を患ってこの社に祈り平癒したので、伊予痘瘡宮として民間の信仰を集めた。

元慶年間（877年～885年）に八幡宮を合祀し石清水八幡宮と号したという。

《石手川沿いの松並木》



堤防を強化するため両河川の堤防に数百本の松の苗を植えた。以来 300 年、村民はこの松を切ったりすることなく、唯一松を切ったのは堤防を洪水から守るための防止策として、濁流の中に切り倒し、水の勢いを弱め守ったのである。（寛永 6 年には、石手川の「駄馬刈り禁止」のお触れが出され市坪村では、昭和 20 年頃まで守られた。）夏は石手川、冬は重信川の松並木に沈む夕日は涙が出るほど美しく荘厳であったそうです。

《安長渡し・学校橋》



（池内スエヲさんの絵）

学校橋
市坪の小学児童は大正二年（一九一三年）から大正二年（一九一三年）まで、学校橋を渡って余土村常高小学校に通学していました。
北組の池内スエヲさん（明治三十九年生）が当時をい出して、この画をかいてくれました。

安長渡しは、現在の JR 石手川鉄橋の西付近にありました。この渡しはとても簡単な木の橋で、安長九郎左衛門がかけたと言われています。江戸時代から明治時代にかけて、市坪の人々の行き来にとって、大切な橋でした。明治時代に、学校に通う子どもたちの多くがこの橋を利用していました。しかし、30 cm から 60 cm 位の一枚板だったので、少し増水しただけで通れなくなることがありました。中には、命を落とす子もいたそうです。そのため、明治 43 年に取り壊されました。

大正 2 年、安長渡しに代わる橋（学校橋）を 300m 上流に架けられました。安長渡しよりは丈夫にできていましたが、大水などによって年に 3 回以上もつくり直さなければならない状態でした。大正 12 年に、この橋も取り除かれたそうです。

「ふるさと椿 椿小学校より」

《安長堤・安長土手》



市坪は重信川と石手川に挟まれた三角地帯にあって、水利に恵まれ、古くより開けた所であるが、旧藩時代からこの河川の堤防は出水の度に決潰して、作物や人家に莫大な損害を与えて来た。

旧市坪村の郷土、安長九郎左衛門は、この度重なる村民の苦難を救わんと、米三千俵を差し出して堤防と耕地の復旧に当たったが、その後も再々水害を蒙ったので、彼は終りに意を決し、残らず私財をなげうって、強固な堤防の築造にとりかかった。

この重なる義挙と意気に感じた村民の懸命の努力によって工事は見事に完成し、立派な堤防が出来上った。人々は、この義挙と功績を称え、この堤防を「安長土手」と呼んで、今にその美徳を語り伝えている。

「郷土愛 編著者 光風・本田九郎より」

第 1 期余土地区地域福祉活動計画書

発行：余土地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉課
〒790-0808 松山市若草町 8 番地 2 松山市総合福祉センター内
Tel : 089-941-3828 / Fax : 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>
E-meil chiiki@matsuyama-wel.jp

発行日：平成 24 年 3 月